

岡崎市のこれからの公共交通について みんなで考えてみませんか？

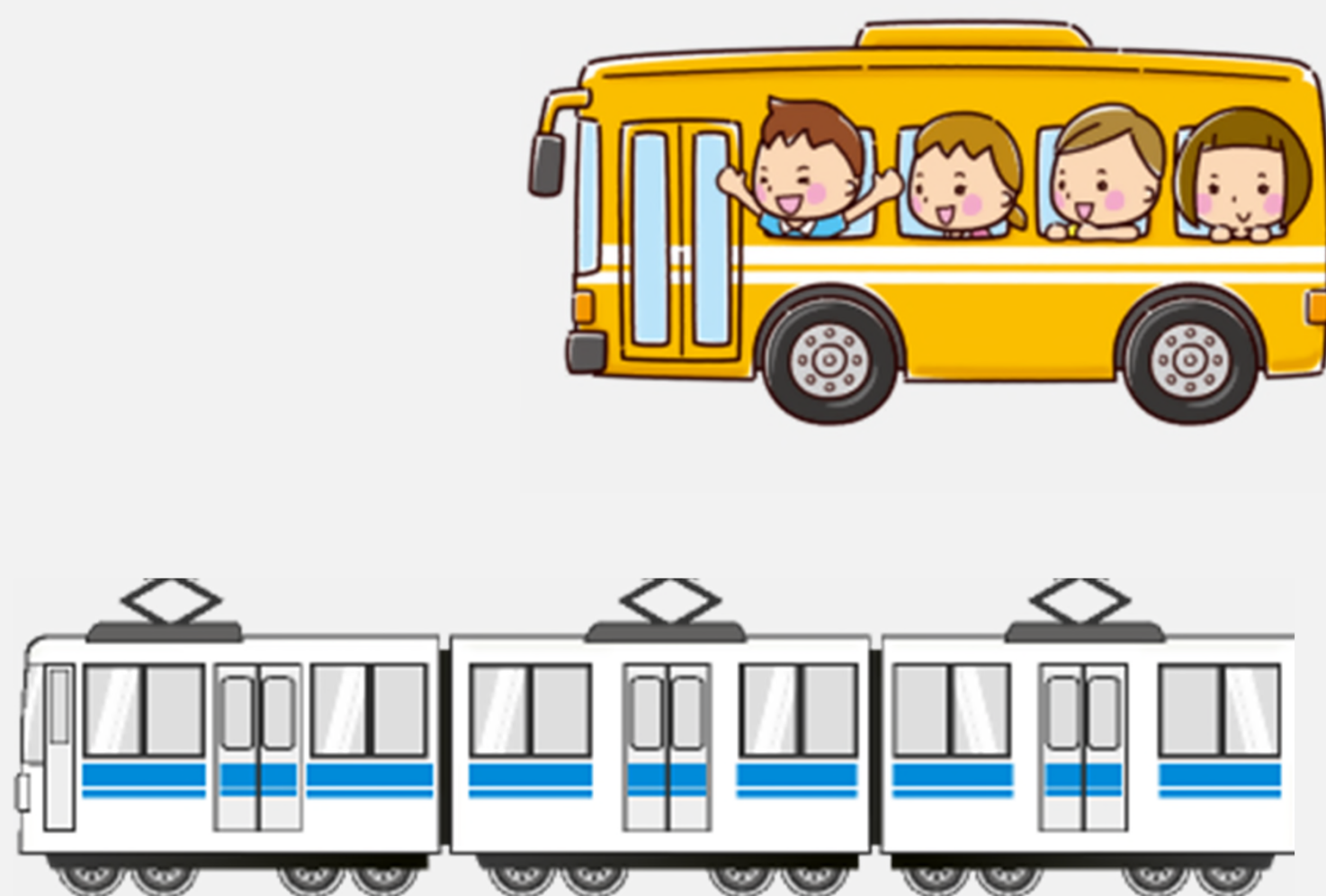
資料1－4②

ぜひ、皆さんの声をお聞かせください！！

公共交通のメリット

交通事故が減る

愛知県内の人身事故件数は
全国ワースト3位の
約24,500件（令和5年）
**公共交通を利用すると
交通事故を減らすことが
できます！**



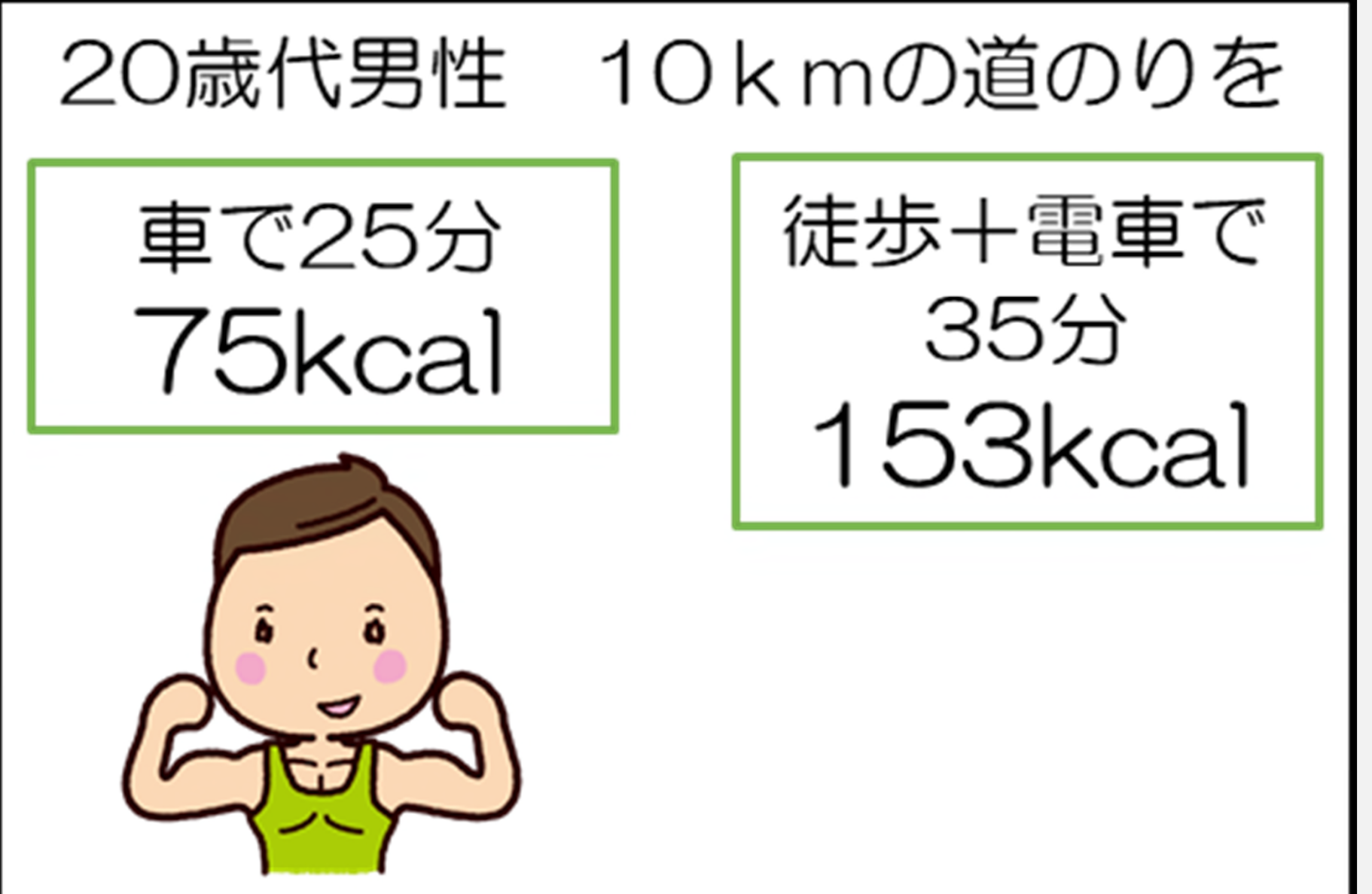
環境にやさしい

1人あたりの二酸化炭素排出量が
**バスは車の約2分の1、
鉄道は約6分の1。**
公共交通の利用は地球の未来を
守ることにつながります！



健康になる

**公共交通を使えば、
消費カロリーは車の約2倍。**
駅・バス停への移動や
乗り換えなど、自然と
運動量が増えます！



最近の岡崎市の公共交通にはこんな課題が・・・

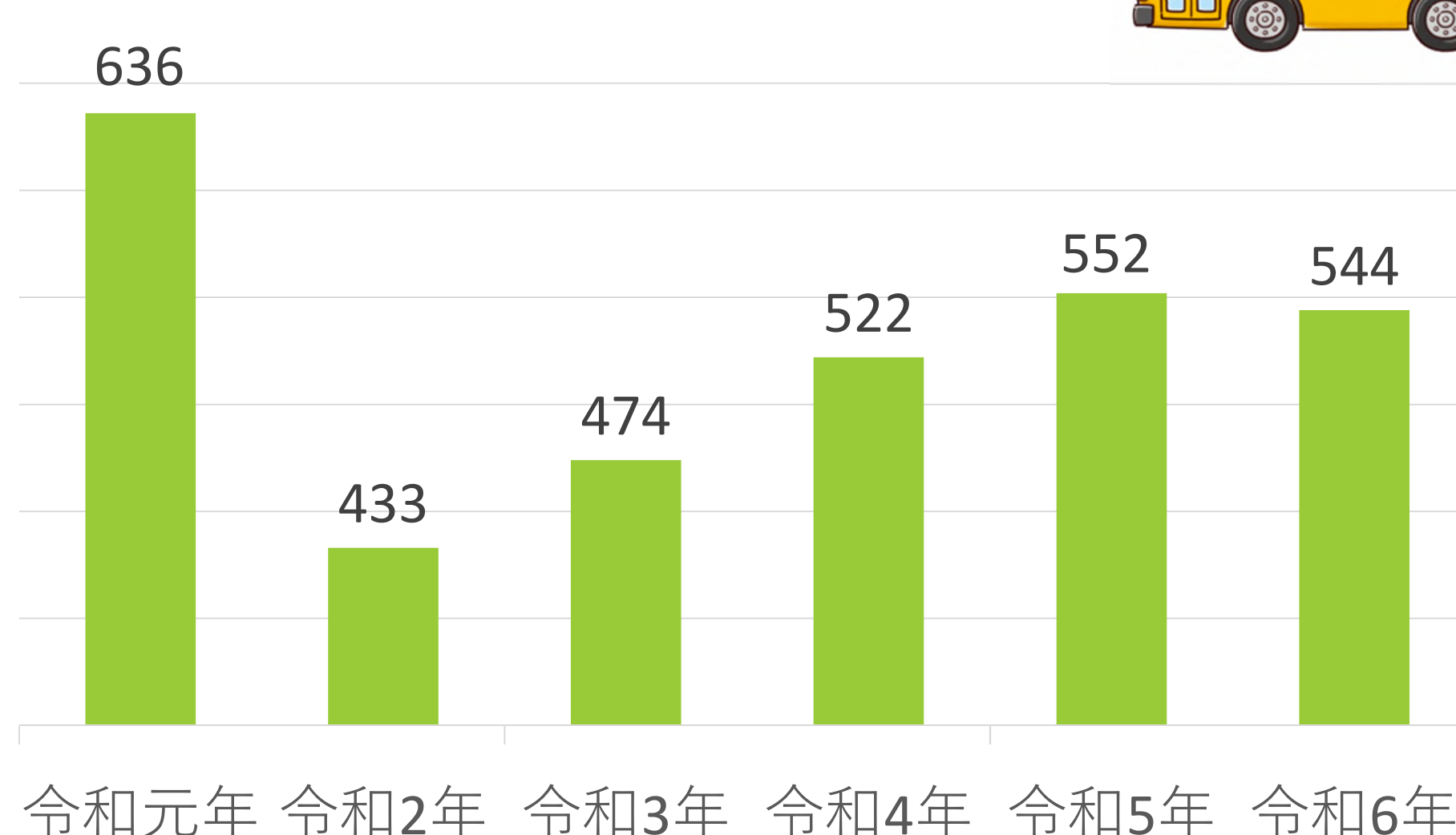
公共交通の利用者が減っています！

◆コロナ禍以降、鉄道の利用者数についてはかなり回復していますが、
バス・タクシーの利用者数については、利用者数が回復していない状況です。

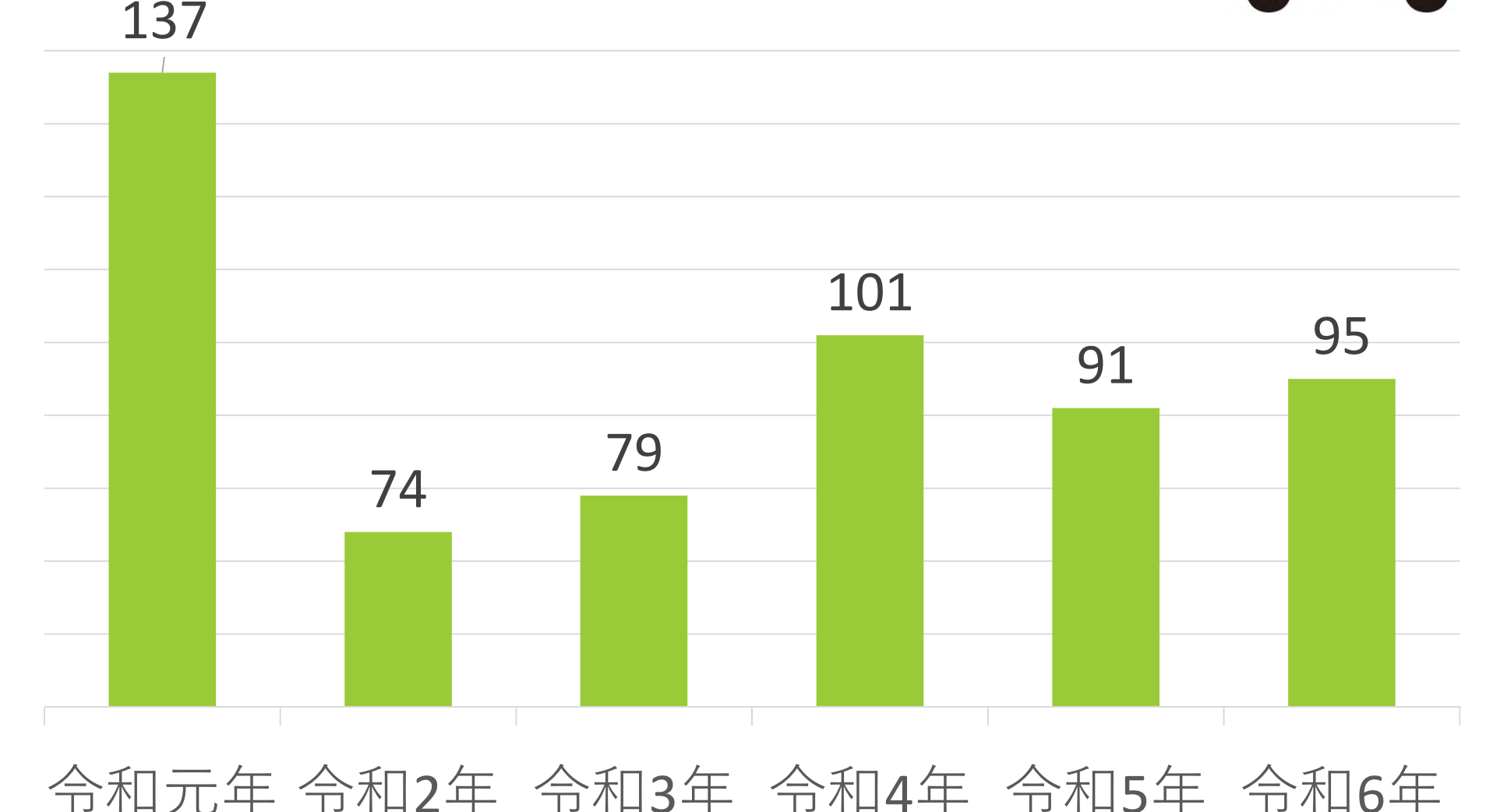
鉄道利用者数（万人）



バス利用者数（万人）



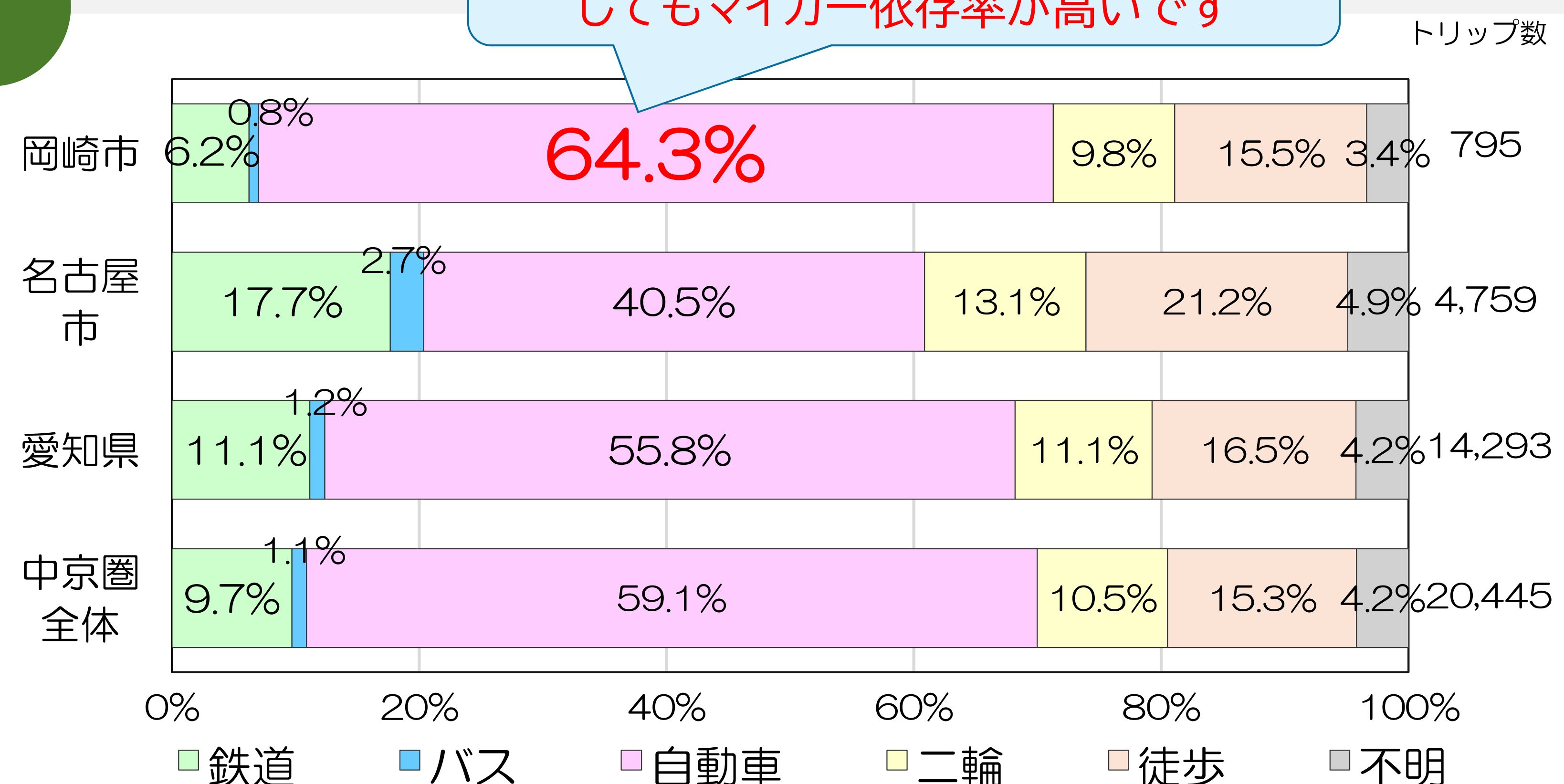
タクシー利用者数（万人）



マイカー依存度が高い状況です！

◆岡崎市のマイカー依存率は
他の地域と比較しても高い現状です。

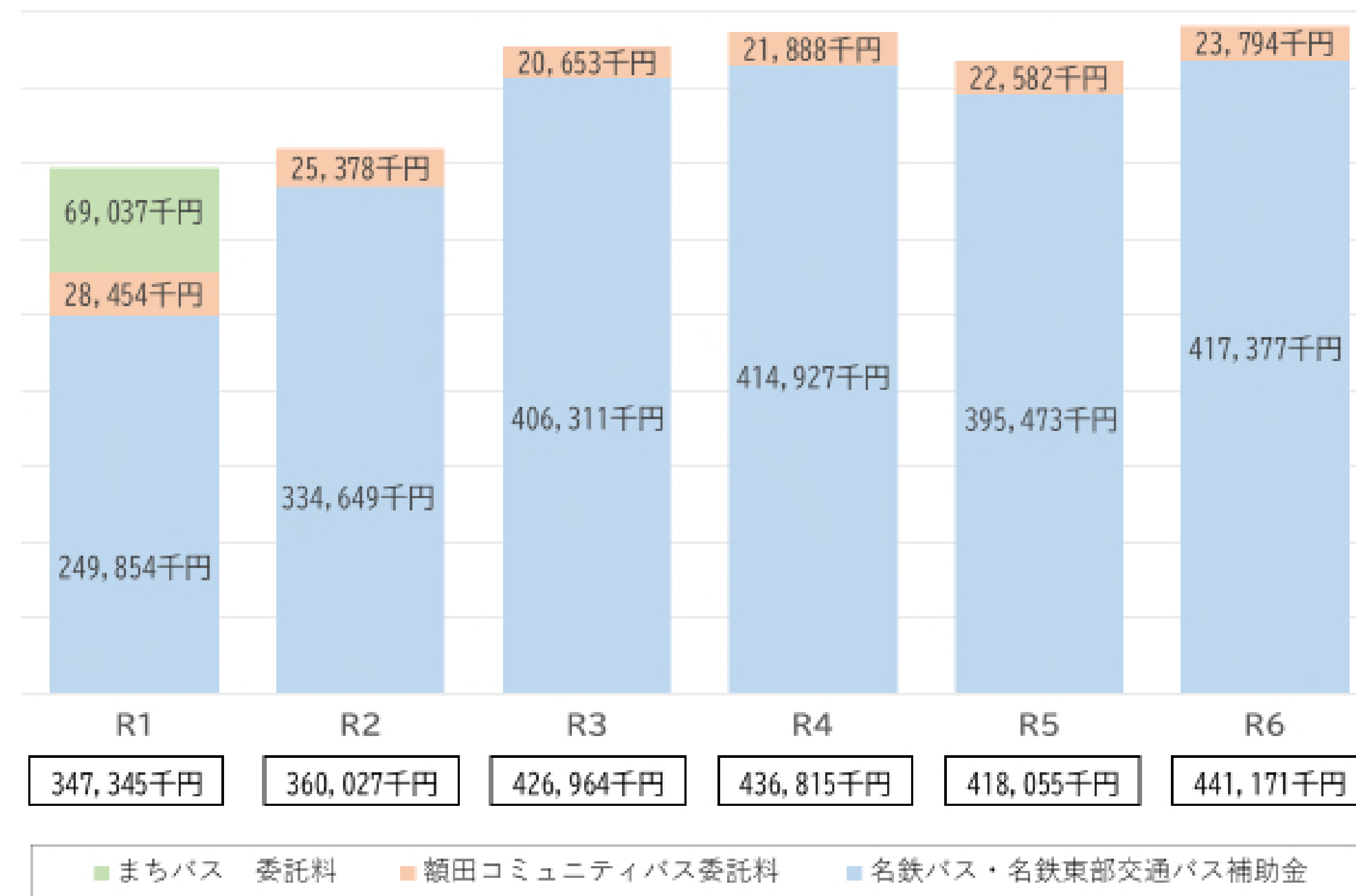
岡崎市は、中京圏全体や名古屋市と比較
してもマイカー依存率が高いです



公共交通の維持には、お金がかかります！

- ◆バスや施設の運営・修繕には多くの費用がかかります。
利用者が少ないと収入が足りず、赤字になってしまいます。
- ◆現在岡崎市では**赤字のバス路線**に対して公的資金を投入して路線を維持確保していますが、金額は増加しています。

岡崎市のバス路線に対する公的資金投入額の推移



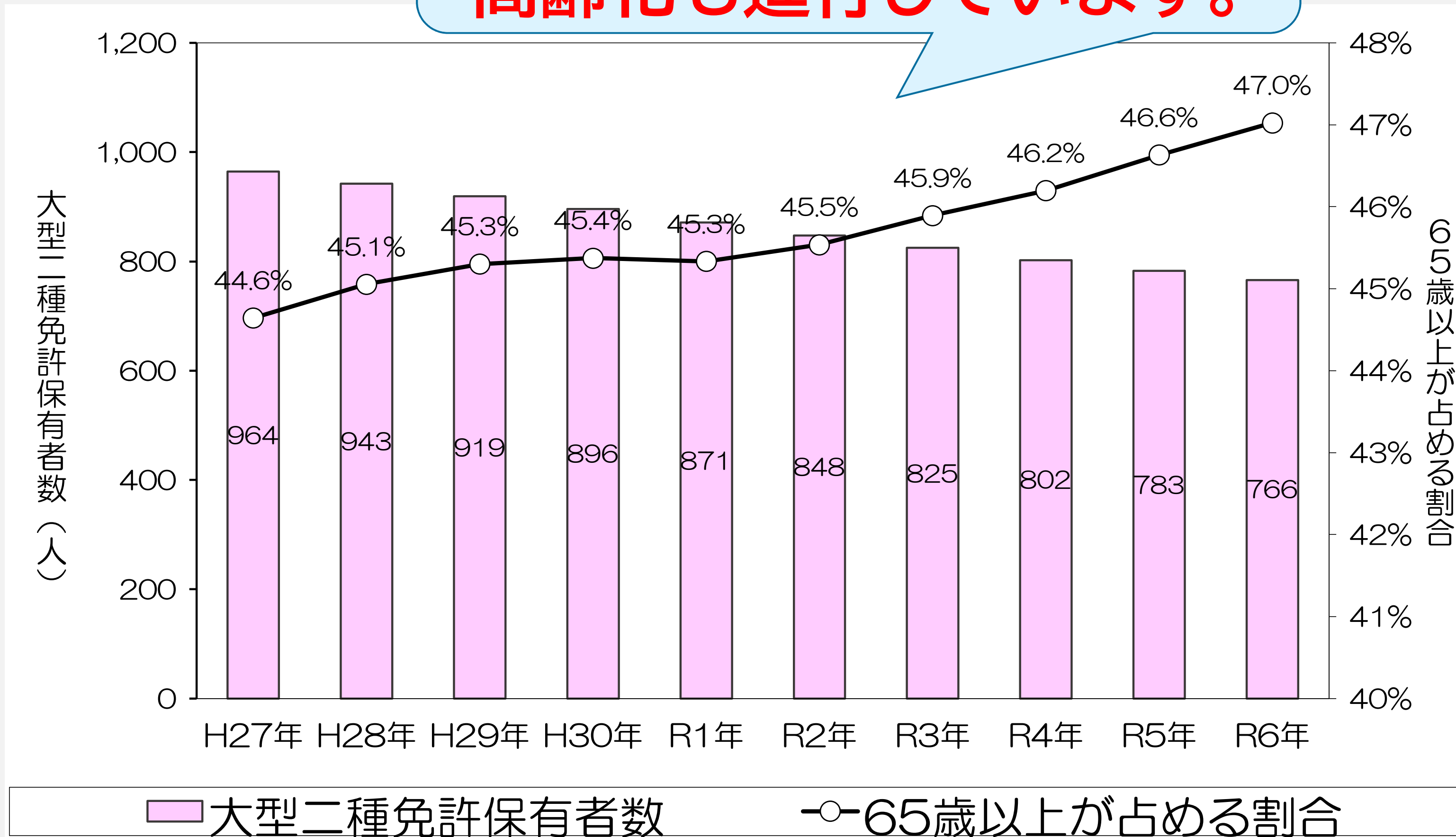
資料：岡崎市

公共交通の運転手が不足しています！

- ◆大型二種免許保有者は年々減少し、運転手の高齢化が進んでいます。
公共交通サービスの維持には、運転手の確保は重要な課題です。



運転手の数は年々減少し、
高齢化も進行しています。



資料：警察庁「運転免許統計」（平成27年～令和6年）

これらの課題の解決し、公共交通を確保・維持するためには、
地域・事業者・行政が連携して取り組むことが必要です！

市では事業者と協力し、様々な取組を実施しています。

◆公共交通・交通安全教室

小中学生を対象に、公共交通・交通安全に関する出前授業を開催



◆公共交通ポスターコンテスト

小中学生を対象に「電車・バス・タクシーの走る市内の風景」や「公共交通利用に関するマナー」をテーマとしたポスターコンクールを実施

◆『岡崎モデル』の実現

名鉄バス(株)と包括連携協定を締結し、公共交通の確保・維持を見据えた人材確保を目的とし、外国人運転士の誕生に向けた支援体制を構築する『岡崎モデル』の実現に向けた取組みを実施



今年「岡崎モデル」第1号の
外国人バス運転士がデビューしました。

持続可能な公共交通の実現には「公共交通軸と拠点の充実・保証」と「交通空白における移動の確保」の観点が重要です。

主に
枝の交通

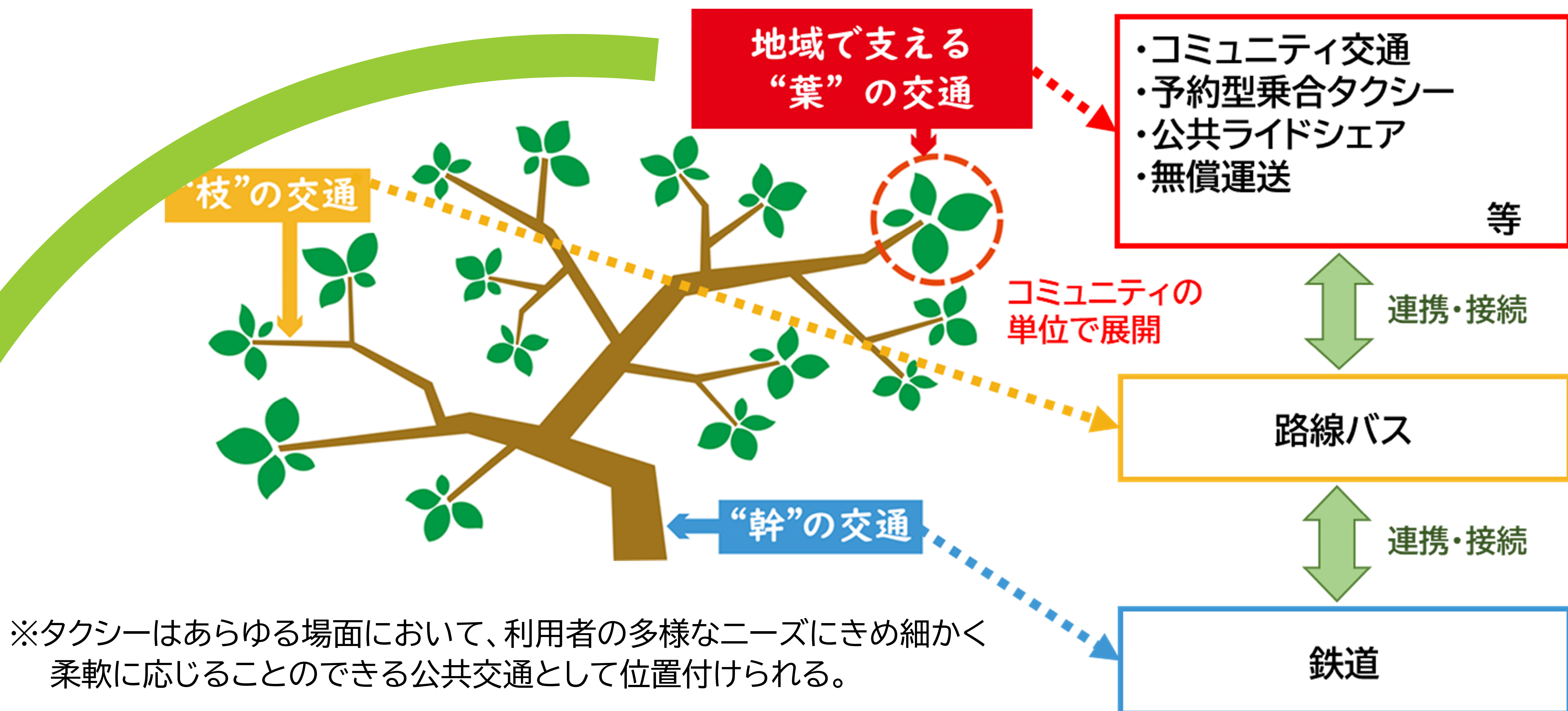
公共交通軸と拠点の充実・保証

公共まち・観光の骨格となる路線・拠点について、おでかけの足として、利便性の高いサービスを目指す交通軸と拠点の充実・保証

主に
葉の交通

「交通空白」における移動の確保

交通空白における移動の制約がある者（高齢者、こども等）に重点をおいて、移動の足の確保（カバー）を目指す。



図：市内の公共交通網のイメージ

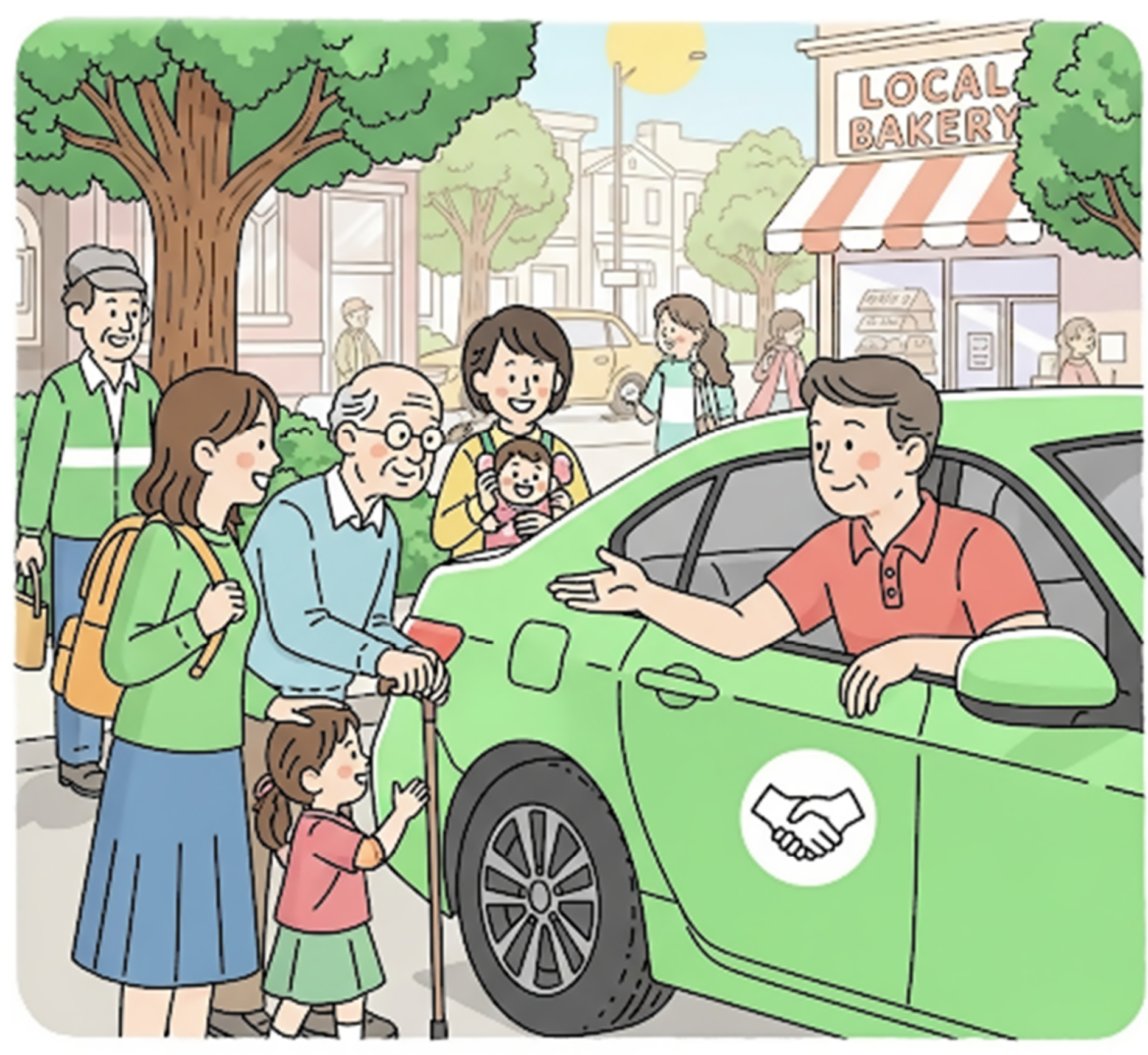
地域の交通に関する課題の解決に向けては、
地域住民が自ら提案し、利用して、支えていくことが必要になっています。

“葉”の交通の事例：公共ライドシェアとは？

- ◆バス停や駅が近くない交通空白地における移動手段の選択肢の一つです。
- ◆地域住民が主体となって運行するため、地域に合わせた柔軟な運行が期待できます。



町内会やNPO法人等が自家用車を
活用して有償で運行するサービスです。



運転手は地域のボランティアや
NPO法人が担います。

この機会に、公共交通の利用や自分の地域の公共交通について
考えてみてください！



公共交通まちかどアンケート

お住まいの地域をスタッフにお伝えください。

- ：岡崎地域、

●

：中央地域、

●

：岩津地域、

●

：矢作地域、

●

：六ツ美地域、

●

：東部地域、

●

：大平地域、

●

：額田地域、

○

：市外



Q. 今日 **はどんな交通手段**でここまで来ましたか？

	19歳以下	20歳～64歳	65歳以上
電車・バス			
タクシー			
自家用車			
徒歩・自転車			

Q. いつも **はどんな交通手段**で移動していますか？

	19歳以下	20歳～64歳	65歳以上
電車・バス			
タクシー			
自家用車			
徒歩・自転車			

公共交通まちかどアンケート

- Q. 普段よく行く場所はどこですか？
- Q. 公共交通がより充実したら行きたい場所はありますか？

下の公共交通マップを参考に、あてはまる場所を次の表に張り付けてください。



公共交通まちかどアンケート

Q. 普段よく行く場所はどこですか？

		19歳以下	20歳～64歳	65歳以上
商業施設	イオンモール岡崎			
	アピタ岡崎北			
	ウイングタウン岡崎			
	地元のスーパー			
医療機関	岡崎市民病院			
	藤田医科大岡崎医療センター			
	愛知医大メディカルセンター			
	地元の医療機関			
行政施設	図書館交流プラザ りぶら			
	岡崎げんき館			
	岡崎中央総合公園			
	岡崎城公園			
	東公園			
	子ども美術博物館			
	地元の地域交流センターや 学区市民ホーム等			

公共交通まちかどアンケート

Q.公共交通がより**充実**したら**行きたい場所**はありますか？

		19歳以下	20歳～64歳	65歳以上
商業施設	イオンモール岡崎			
	アピタ岡崎北			
	ウイングタウン岡崎			
	三井アウトレットパーク岡崎			
	地元のスーパー			
医療機関	岡崎市民病院			
	藤田医科大岡崎医療センター			
	愛知医大メディカルセンター			
	地元の医療機関			
行政施設	図書館交流プラザ りぶら			
	岡崎げんき館			
	岡崎中央総合公園			
	岡崎城公園			
	東公園			
	子ども美術博物館			
	地元の地域交流センターや 学区市民ホーム等			

公共交通まちかどアンケート

Q. 公共交通の維持していくためには、**どんな取組が必要**だと思いますか？
必要だと思うものを3つまで選択してください。

19歳以下	20歳～64歳	65歳以上
市内の主要な拠点（東岡崎駅・岡崎駅など）を結ぶバス路線について、 現行の運行本数の維持又は増便を図るべき		
地域内の移動手段確保のため、町内会等が主体となり、 必要な移動手段を検討する必要がある		
地域住民が 自ら運転手となり有料で運転する交通サービス （公共ライドシェア）の導入を進めるべき		
利用実態に応じた 運行時間の短縮や減便もやむを得ない		
運賃の値上げもやむを得ない		